

(様式)

普及項目	担い手
漁業種類等	ノリ養殖
対象魚類	ノリ
対象海域	有明海

地元児童を対象とした海苔手すき体験教室

県北広域本部水産課・永田 大生

【背景・目的】

有明地区漁業士会では、後継者育成活動として、地元児童に対する海苔手すき体験教室を開催してきた。元年度も地元児童に対して開催し、水産課は体験前後でのアンケート調査などの支援を行い、教室内容の充実を図ることを目的とした。

【普及の内容・特徴】

(1)海苔手すき体験教室

日時：令和元年(2019年)8月28日

参加者：玉名市立鍋小学校 5～6年生

計 49名

スタッフ：有明地区漁業士会 3名、海苔生産者 2名、岱明漁協職員 1名、熊本県漁連職員 1名、県水産関係者 5名

場所：玉名市立鍋小学校

概要

漁業士がスライドを活用し、①全国の海苔生産地と生産枚数、②養殖工程、③年間スケジュール、④加工工程、を説明後、児童に対し、伝統的なノリ手すき方法を指導した。

(2)事前および事後アンケート調査の実施

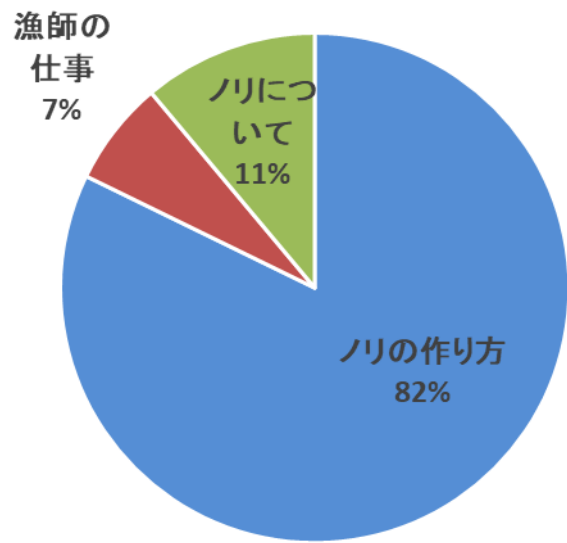
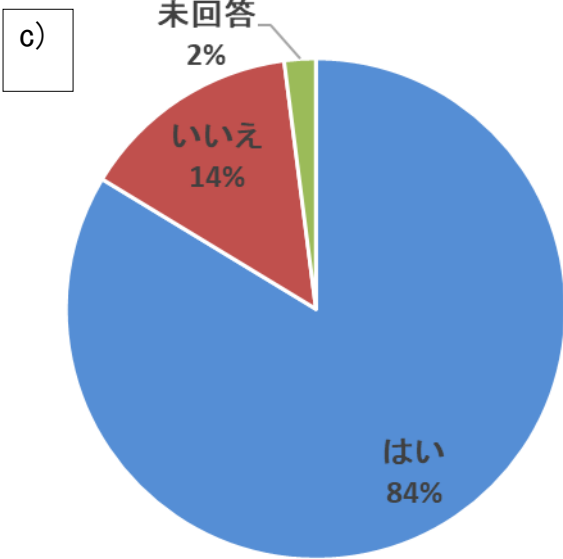
教室開催前に実施したアンケート調査結果では、8割以上の児童が地元で海苔養殖が行われていることを把握していた一方、「海苔の作り方」についての質問内容が8割以上と海苔養殖の具体的な工程について知らない児童が多いことがわかった。

実施後アンケート調査結果では、「海苔養殖の各工程について初めて知った。」と回答した児童が7割以上と多く、特にカキ殻培養について関心が高かった。さらに、「将来海苔養殖をしたい。」と回答した児童が約4割であった。

【成果・活用】

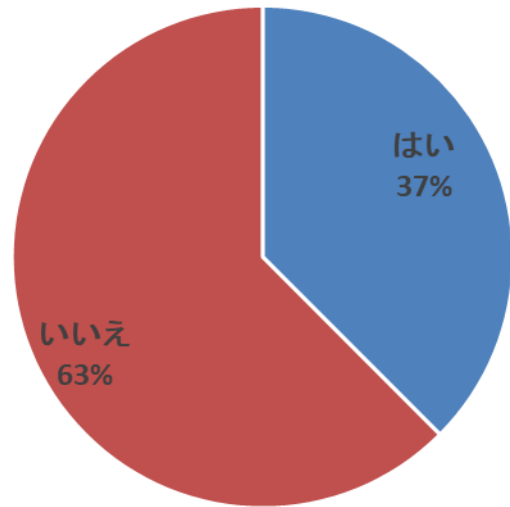
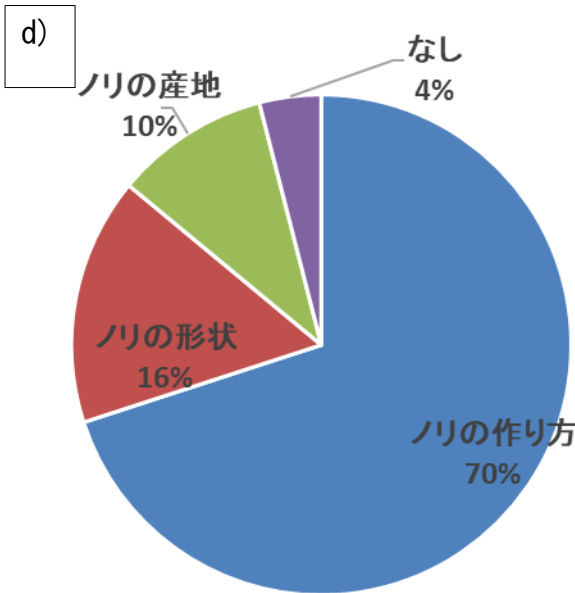
事後アンケート結果から、「将来ノリ養殖業をしたい。」と回答した児童も約4割おり、本教室が地元児童へ海苔養殖業への関心を高めるために効果があったことが伺えた。本教室は地元新聞紙にも掲載され(R1. 8. 30 熊日新聞)、活動周知を図ることができた。

(様式)



Q 地元で海苔養殖をしていることを知っているか?

Q 生産者に聞きたいこと



Q.教室で初めて知ったこと

Q.将来海苔養殖業をしてみたいか。

(a) 海苔養殖について説明する漁業士 (b) 伝統的な手すり方法を指導する漁業士 (c) 事前アンケート結果(一部) (d) 事後アンケート結果(一部)